

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.978(34-28) 2020年8月31日

酷暑の中、10年続くJALの争議解決を訴えました！

四国キャラバン



8/17 徳島県→18日 香川県→19日 高知県→20日 愛媛

新型コロナ感染拡大で延期されていた「四国キャラバン」が、8月17日から20日まで行われました。JAL争議を支える会と最賃引き上げを取り組む団体がコラボし、「JAL闘争支援・最賃全国キャラバン四国実行委員会」を立ち上げ実施されました。

各地の宣伝行動や学習会の他、各県の労働局要請も取り組まれました。4県の労働局要請では、対応した担当者が、争議解決を求める訴えと要請に対し「本省に伝える」と答えました。

キャラバンに先立ち行われたオルグにより、35団体の協力を得ることができました。のべ204名が参加し、連日の酷暑とコロナ対策の中、キャラバンは無事終了しました。争議団から愛媛県在住の原告が2名、福岡在住のパイロット原告1名が参加しました。

徳島県



38度とアスファルトの熱で靴が溶けそうな猛暑の中、キャラバンはJAL徳島駅前宣伝からスタートしました。午後の徳島労働局への要請後も、駅前で宣伝が行われました。



夕方からの学習会では、JAL争議の経緯や2裁判判決などを纏めたDVDを鑑賞し、争議支援と早期解決に向けた決意を確認。JAL争議の現状について、原告の林さんが報告しました。(写真左)

2日目の早朝に徳島を出発。途中、徳島県三好市池田町のショッピングセンター前で宣伝行動。4日間四国を走り続ける街宣車の窓には「JAL争議支援」と「最賃1500円の実現を」の文言が赤くペイントされていました。



香川県



高松では労働局要請を行い、夕方から徳島と同様学習会が開かれました。移動の合間に、宣伝カーで高松市内をテープを流しながら回りました。窓から入る太陽光線は強烈で、乗っているだけで顔がヒリヒリしたそうです。



高知県



3日目、高松を出て高知まで2時間。ひろめ市場で宣伝。いつも観光客で賑わう繁華街も閑散でした。通行人が掲げるボードを興味深げに見ていました。高知労働局要請後、中央公園入り口の帯屋町アーケード前でも宣伝行動。高知の時給792円は全国最低。東京と比べると生涯賃金2000万円の差と分かると、おかしいと若者が叫んでいました。

夕方から「こうち19日行動」参加。参加者50名から、多額のカンパがありました。

愛媛県



最終日、高知市から北上し愛媛県を西に向かい松山市に到着。大街道入り口で宣伝後、愛媛労働局に要請しました。松山市駅に移動し、キャラバン最後の宣伝を行いました。



夕方から学習会が開かれ、参加した原告3人が、熱い支援へのお礼と勝利を勝ち取る決意を述べました。

参加された皆さん、酷暑の中、本当にお疲れ様でした!

7年ぶりに行われた四国キャラバン。JAL争議と最賃とのコラボで取組まれたことで、市民の注目を集めることができ、ボードや横断幕を持つでのスタンディングは効果抜群でした。各地の学習会では、のべ150名が参加し、JAL争議への理解が広がりました。最終日の学習会では、最後にうたごえの仲間と「がんばろう」を合唱し、実りある4日間のキャラバンが終了しました。